

会 議 録				
平成 19 年度第 1 回 社会教育委員の会議	日 時	平成 19 年 4 月 23 日 (月) 午後 2 時 00 分～4 時 00 分	場 所	小金井市役所第二庁舎 8 0 1 会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	福島議長、彦坂副議長、井土、田尻、君塚、武田、田中、藤川、堀井各委員 (欠席) 兼森委員		
	その他	谷垣教育長、石川生涯学習部長、伊藤生涯学習課長、中嶋公民館長、田中図書館長、林スポーツ振興課長、		
	事務局	木村生涯学習係主事、		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 報告事項				
(1) 教育長挨拶				
(2) 社会教育委員の選任について				
(3) 平成 19 年度担当紹介				
(4) 平成 19 年度予算説明				
(5) 平成 19 年度都市社連協定期総会について				
(6) 平成 19 年度第 1 回小委員会について				
(7) 第 2 4 期社会教育委員の委嘱について				
(8) 社会教育関係団体の登録について				
(9) 図書館別館の開館について				
(10) その他				
2. 協議事項				
(1) その他				
1. 報告事項				
(1) 教育長挨拶				
(谷垣教育長)				
みなさん、こんにちは。皆さん方には日頃より、生涯学習の推進に向けて大変ご協力いただきましてありがとうございます。昨日市長選挙が行われ、市長選挙の結果、今朝ご挨拶がありました稲葉市長が当選され、文化施策の充実、生涯学習の推進ということを公約として取り上げているところでございます。また皆様方に色々な面でご尽力いただかなければならないことがあろうかと思っておりますのでよろしくお願い致します。これまで地域子ども教室ということで開催してきました放課後の取り組みにつきまして、今年度より放課後子どもプランということで、文部科学省の委託を受け、できるところからこの事業を推進していきたいと				

思っているところでございます。早速、生涯学習部長を始め、担当の生涯学習系のほうで動いて、創設にむけて努力しているところでございますので、このような点でもご支援いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

(2) 社会教育委員の選任について

小金井市立小中学校校長会より選任され、社会教育委員を務めていた柿崎元委員が、定年退職に伴い委員を退任されたため、第四小学校校長田尻洋二校長が委員として選任された。

(田尻委員)

初めまして。小金井第4小学校の校長の田尻と申します。この度、校長会の社会教育委員の担当を務めさせて頂くことになりました。よろしくお願い致します。いま、教育長先生からもお話がありましたが、放課後子どもプランということで、校長会でもいろいろ話をしながらリーダーシップをとって、できる所から子どもたちのために実践していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

(3) 平成19年度担当紹介

(石川生涯学習部長)

平成19年4月1日付けで組織改正及び職員の人事異動があった。組織改正については、教育委員会が二部制となり、学校教育部と生涯学習部になった。また、体育課はスポーツ振興課に名称変更した。職員の人事異動については

- ・ 教育部次長兼生涯学習課長が生涯学習部長に配置換え及び兼職解除
- ・ 生涯学習課長補佐が生涯学習課長兼生涯学習係長に昇任・昇格
- ・ 古屋図書館長の後任に福祉保健部健康課長補佐兼精神保健係長の田中肇が図書館長に転任のうえ昇任・昇格
- ・ 事務局である生涯学習課では、収入役室会計課から牛込孝子主事が生涯学習課に転任。

(4) 平成19年度予算説明

(石川生涯学習部長)

平成19年度の市の一般会計予算総額は34,129,250千円。前年比2,231,750千円の減で、マイナス6.1%。教育費総額は19年度4,502,386千円で前年比マイナス6.4%。生涯学習部総額が1,167,864千円で前年比マイナス6.4%。生涯学習部全体の職員人件費が455,650千円で、前年度より22,725千円の減。平成19年度より、予算編成権限の移譲、庁内分権、予算編成過程への積極的な職員参加を目的とし、自立的自治体経営を展開するため枠配分予算の試行を企画財政部と教育委員会の2部署で実施した。枠配分の対象となる経費は、一次経費。

(伊藤生涯学習課長)

生涯学習課では18年度からまちづくり交付金を利用し、「団塊の世代のための地域参加講座」「市民カルチャースクール」を実施しており、19年度も引き続きこの事業を実施していく。また、これまで「地域子ども教室」として実施していたものを「放課後子どもプラン」とし、より各学校に定着した形で実施していけるようにする。

文化財センターでは、OA機器等を導入し、パソコンやプロジェクター等を通じて展示を充実させたい。市史の編纂については20年度から桜の資料集を発行したい。

清里については18年度より指定管理者への移行に伴い事務が若干簡素になった。

(林スポーツ振興課長)

スポーツ振興課の19年度予算の特徴について、東京国際スリーデーマーチの交付金が18年度の1,500千円から2,000千円に増額した。この費用は中央会場の充実とボランティアのためのものである。スポーツ・レクリエーション体験教室に要する経費として、市が東京都市長会多摩・島しょ子ども体験塾市町村助成金を受けることとなり、スポーツ振興課においてもTボール大会、野川駅伝大会、山村生活体験教室を実施する予定。中高齢者対象の体力測定等を行うため、握力計、前屈計、万歩計を備品として購入した。栗山健康運動センターの温水プールの天井の改修工事のため工事請負費を3,000千円計上している。

(田中図書館長)

19年度の図書館の特徴として、「子ども読書活動推進計画」の推進のため、新規事業として「おはなし会ボランティア」や「おはなし会読み聞かせ講習会」への謝礼を措置した。図書費については、400冊分上積みし、総額3,800万円。ハンディキャップサービスの一層の充実を図るため、デイジー編集初心者講習会委託料及び障がい者用パソコン・点字プリンター・デイジー図書読取機等のリース料を措置した。また、拡大鏡を17インチ液晶モニター付の拡大読書器に買い替え、弱視の方の読書支援を図る。その他、図書館別館の管理と併せ、夜間の管理体制強化として管理員の配置を予算化している。

(中嶋公民館長)

一次経費の特徴として、第2次行財政改革により東センターの非常勤嘱託職員を廃職とした。新規事業として異世代交流講座により、子どもから高齢者まで世代間交流により共に学びあい、理解しあう仕組みを設けた。また、2007年団塊の世代問題に対応するよう事業の見直し、充実を図る。コンピューター借上げ料について、平成12年度に国から交付されたIT講習会用パソコンを公共施設予約システムにも転用して有効活用を図ってきたが老朽化が著しく、市民のデジタルデバイド解消のためにも借上げとする。

二次・三次経費の特徴としては、東センターの清掃を委託する。(仮称)貫井北町地域センター用地の年賦支払は上半期執行分で終了。貫井南センターの耐震設計、東センターの外壁改修工事を実施する。なお、今後工事、修繕、備品の購入等は見直しを含めて年次計画を以て対応していく。

(堀井委員)

生涯学習課の講座について、地域の団体に講座の講師を頼んだ際の予算はついていないのか。地域の団体等に講師を依頼するとき、ボランティアではなく、予算を付けていく方向を考えられないか。

(伊藤生涯学習課長)

行政が講座を行う場合には、前年度から予算化をし、その予算に基づいて講座を行うが、昨年は文化財センターで行った写真展が好評であったため、団体に写真展を材料にした講座をお願いした経過がある。年度途中の発案であったため、予算措置はされていなかった。その旨を説明したうえで無理のない範囲でお願いし、快諾を得、実施することができた。実施団体にも喜んでいただいていると理解している。今後も市民にアピールする良い状況が生まれた場合、その時点を捉えて可能なことをやっていきたい。予算措置がない場合はご協力をお願いするということはあるかと思う。

(堀井委員)

枠配分予算も取り入れられたので、これを機により柔軟な予算組はできないものか。

(石川生涯学習部長)

今後、堀井委員の意見も参考に検討していきたいが、枠配分予算といっても各課で使用できる枠は決まっているので、柔軟な予算組みは難しい部分がある。

(田中委員)

教育関係の予算配分はおおよそマイナス6%ということだったが、主にどのような部分が下がっているのか。

(石川生涯学習部長)

市の一般会計総体がマイナス6%ほど減となっているため、その分全体的に下がっている。図書館に関しては、18年度の工事費を差し引くとプラスになっているが、その他は一般会計の減に伴い、同様に減額となっている。

(5) 平成19年度都市社連協定期総会について

[平成19年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について福島委員より報告があった。]

(福島委員)

平成19年4月21日(土)13時～ 狛江市エコルマホールにて開催された。

また、定期総会後に行われた19年度社会教育委員研修会の統一テーマは『地域をいきいきとする社会教育』～すべての人が輝けるまちづくりのために～で、東大和市の井澤典子社会教育委員から「学校・家庭・地域の実践～みんな笑顔の『土曜楽』～」と題し、東大和市中で行っている「土曜楽」について報告があった。

(君塚委員)

東大和市中では資金に関して予算措置はされていないのか？

(福島委員)

予算措置はない。保険だけはかけているということだが、現状ある資産や人材等で行っているとのことだった。

(6) 平成19年度第1回小委員会について

(君塚委員)

第1回の小委員会では、3月22日の小委員会で各小委員会委員から提出された地域教育会議についての構想について議論した。その中で出てきた課題は、以下のとおり。

- ・ 地域教育会議の具体策・コーディネーターについて。
- ・ 行政をどう位置付けるか。どこを原動力として進めるのか。
- ・ 障がいを持った子どもや保護者、外国籍の市民等への対応について。

次回の第2回小委員会で、各委員が報告書の構成案を出すことになっている。最終的には7月の社会教育委員の会議での承認を目指す。設置の具体的な実現性を持つ提言を出したい。設置目的・理念等は見えてきているので、残りの小委員会では、地域教育会議の具体的な中身を詰めていきたい。

(7) 第24期社会教育委員の委嘱について

(伊藤生涯学習課長)

第23期社会教育委員が、19年度9月8日を以って任期満了となるため、24期委員の募集を開始する。団体からの推薦については、依頼状を5月9日に発送、5月24日頃決定の予定。公募については6月1日号の市報に掲載し、論文と面接による選考を行い、7月17日に決定する。結果については9月15日号の市報でお知らせする。

(堀井委員)

委員の選考については、団体推薦の割合等は23期と同様の人数割で行う予定か。

(伊藤生涯学習課長)

社会教育委員の選出については、要綱に従って行っているので、今年度も前回と同様の選考が行われる予定。

(8) 社会教育関係団体の登録について

(伊藤生涯学習課長)

7団体の登録が追加された。

(9) 図書館別館の開館について

(田中図書館長)

平成18年度予算にて、図書館本館の南側に図書館別館を建設、3月26日に完成し5月1日に開館予定。

- ・ 図書館別館の概要について

軽量鉄骨造りの2階建てで、自転車29台分の駐輪スペースがある。2階部分が学習スペースと誰でもトイレとエレベーターホールで学習机15台、椅子45脚の設置を予定している。

・要綱の概要について

開館時間は午前10時から午後5時、利用は無料。個人使用は金・土・日・祝日、団体使用は火・水・木。個人使用は先着順とし、団体使用は図書館関係団体に限定して、事前に図書館に団体登録する。登録できる団体は構成人員5名以上で、図書館関係団体または図書館と連携できる団体に限定する予定。管理関係については、シルバー人材センターに委託する。

・予算措置について

18年度当初予算にて建設し、歳出合計26,586千円。うち、まちづくり交付金等で20,840千円の交付金を受けている。建物の維持のため、19年度予算では2,325千円を予定している。

(田中委員)

学習室にはオーディオやパソコン等OA機器などの設備はあるのか。

(田中図書館長)

そういった設備はない。学習室内にあるのは机・椅子・黒板のみ。

(堀井委員)

個人使用というのは具体的にはどういった使用をイメージしているか。

(田中図書館長)

学習や調べものをする目的で使用してもらおう。

(10) その他

(中嶋公民館長)

・第29期公民館運営審議会委員公募について

第29期公民館運営審議会委員の任期は、平成19年9月9日～21年9月8日。4月27日(金)に開催される公民館運営審議会で報告をし、次回に報告をしたい。また、公募については市報6月15日号に掲載予定。

・第19期公民館企画実行委員の補充選出について

現時点での公民館企画実行委員の減員は、本館1名、貫井南分館1名、緑分館2名、合計4名であるため、補充選出をすることとし、4月27日(金)に開催される公民館運営審議会で報告をし、次回に報告をしたい。補充選出については市報5月15日号に掲載予定。

・平成19年度東京都公民館連絡協議会定期総会の結果について

4月18日(水)午後2時～3時45分、まちだ中央公民館小ホールにおいて平成19年度東京都公民館連絡協議会定期総会が開催された。来賓挨拶、18年度事業報告、決算の認定、財産に関する調書、監査報告、役員承認となり、報告事項で立川市が19年3月31日に脱退した旨報告があった。

(林スポーツ振興課長)

・第12回東京スリーデーマーチについて

5月3日、4日、5日の開催に向け、現在準備を進めている。4月25日には小金井工業高校の生徒の協力を得て、参加者に配布する物品の封入を行う。小金井工業高校の「奉仕の時間」という授業の一環で行うこととなる。その他の市内団体については、駅での案内や会場での出展などにご協力頂く予定。中学生ボランティアについては受付や、スタート・ゴールのチェックなど依頼する。チラシを市立中学校全校に配付し、募集している。

(伊藤生涯学習課長)

・放課後子どもプランの進捗状況について

現在放課後子どもプラン実施要綱を作成中で、今後これに従って具体的な事業を実施していく。新たな取り組みとして、各学校での常設的な活動を目指す。モデル的な取り組みとして、まずは本町小学校で退職教員等を中心に実施していく。すでに本町小学校からは場所の確保等の協力を得ている。実施時期については6月スタートを考えている。4月25日に第1回放課後子どもプラン運営委員会を開催し、委員を委嘱して正式にスタートする。

(藤川委員)

本町小学校がモデル校として選ばれたのには、何かこれまでの積み重ねがあったからなのか。

(伊藤生涯学習課長)

会場を確保するための調査を各校にかけたところ、本町小学校が場所の提供を申し出てくれたこと、校長先生が学校で行う事業に対して理解を示してくれたことによる。

他校の校長先生とも話をしており、理解を示してくれているが、いっぺんに立ち上げるのは難しいため、まずは本町小学校をモデル校として立ち上げたい。

(藤川委員)

他の地域の子どもたちは通えるのか。

(伊藤生涯学習課長)

基本的には本町小学校の学区の児童・生徒を対象としている。保険等の関係もあるので、登録制にする予定である。私立、国公立等に通っている学区内の児童・生徒についても同様に登録のうえ参加してもらう。

(君塚委員)

養護学校等に通っている子どもも登録可能か。

(伊藤生涯学習課長)

可能。ただ、介助等が必要なお子さんについてはご家庭のご協力を仰ぐ形になる。

(田中図書館長)

・図書館の特別休館について

個々の資料の所在を確認し、蔵書の把握をするため、以下のとおり各館を休館とし、蔵書の点検作業・書架整理・開館準備等を行う。

○ 図書館本館及び別館 平成19年6月1日～11日

- 図書館東分室 平成19年6月11日～15日
- 図書館緑分室 平成19年6月11日～15日
- 西之台会館図書室 平成19年6月1日～2日
- 移動図書館「あおぞら」 平成19年6月3日～4日

以 上